

きらめき 創造 大洲市

—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—

おおず 市議会だより

2007
No.13

平成19年11月15日発行

●発行 大洲市議会 〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690番地の1 ☎0893-24-2111(代) FAX0893-23-1121



肱川町大谷地区の六つ歳踊り

9月定例会の日程

- (9月)
- 12日 本会議 (開会・提案説明)
- 18日 本会議 (質疑・質問)
- 19日 本会議 (質疑・質問、委員会付託)
- 20日 総務文教委員会
- 20日 市民福祉委員会
- 20日 企画財政委員会
- 20日 建設農林委員会
- 26日 本会議 (委員長報告、質疑・討論・表決、閉会)

- 2面
- 3面
- 4面
- 5面～7面
- 8面～10面

- 9月定例会の概要
- 提出議案と結果、新正副議長
- 委員会構成、第4回臨時会等
- 質疑・質問
- 常任委員会、議会日誌

平成19年度9月補正予算

2億1,907万円を可決!!

一般会計予算総額241億7,785万円

(対前年度比1.6%減)

厳しい財政の中、住みよいまちづくりへの取り組み

	(単位：千円)
【総務費】	
・大洲市地域公共交通会議経費 ……………	234
(コミュニティバス等運行に関する協議検討)	
・市有林(分収林)整備事業 ……………	8,274
(間伐経費)国補助3/10、県補助1/10	
【民生費】	
・障害児を育てる地域の支援体制整備事業 ……………	411
(保健センター及び愛育ホームへ療育器具等を整備)県補助10/10	
・視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業 ……………	998
(視覚障害者に対する情報支援機器設置 本庁4台、支所3台、図書館2台予定)県補助10/10	
【農林水産業費】	
・果樹産地体質強化促進事業費 ……………	2,376
(果樹生産機器等購入)県補助1/3	
・肉用牛産地強化支援事業 ……………	9,760
(和牛繁殖雌牛導入基金)県補助1/2	
・鳥獣害防止対策総合支援事業 ……………	2,012
(電気柵等設置)県補助1/3	
・森林整備地域活動支援事業 ……………	19,436
(市内3,497ha森林整備活動支援)国補助1/2、県補助1/4	
【商工費】	
・鹿野川湖ドラゴンボート大会用施設整備事業 ……………	2,060
(2人乗りボート購入、浮き桟橋設置)県補助1/2	
【消防費】	
・消防施設整備事業 ……………	5,200
(脇川方面隊大谷分団へ小型動力ポンプ積載車購入) 県補助4,500千円	
・防火水槽設置事業 ……………	3,400
(三善分団(峠)・上須戒分団(西峰))市補助85%	
【災害復旧費】	
・公共土木施設災害復旧事業 ……………	79,182
(道路13カ所・河川1カ所)国補助2/3	
・公共土木施設災害復旧事業 ……………	19,110
(道路61カ所・河川9カ所・里道9カ所)市単独事業	
・農業用施設災害復旧事業 ……………	3,930
(農道2カ所)国補助65%	

平成19年第3回定例会は、9月12日から26日までの15日間を会期として開かれました。市長から提出されました平成19年度一般会計補正予算をはじめ、大洲市中小企業振興資金融資条例の一部改正、教育委員会委員の任命につき同意を求め、大洲市名誉市民の選定につき同意を求め、20件をいずれも原案のとおり可決・同意しました。

◆9月定例会◆

また委員会提出の「地方の道路整備財源の確保」に関する意見書を可決し、衆参議長・関係大臣へ提出しました。なお、決算の認定議案2件については決算特別委員会を設置し、閉会中も継続して審査することとなりました。

9月定例会に提出された議案とその結果

■議案(市長提出)

議案番号	件名	議決等結果
第70号	平成19年度大洲市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
第71号	平成19年度大洲市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第72号	平成19年度大洲市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第73号	平成19年度大洲市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第74号	大洲市内用牛産地強化支援事業基金条例の制定について	原案可決
第75号	大洲市弘川高齢者生活福祉センター条例の制定について	原案可決
第76号	大洲市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
第77号	大洲市高津地区における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について	原案可決
第78号	大洲市駐車場条例の一部改正について	原案可決
第79号	大洲市総合体育館条例の一部改正について	原案可決
第80号	大洲市中小企業振興資金融資条例の一部改正について	原案可決
第81号	大洲市交流促進センター条例の一部改正について	原案可決
第82号	大洲市消防団条例の一部改正について	原案可決

議案番号	件名	議決等結果
第83号	新たに生じた土地の確認について	原案可決
第84号	字の区域の変更について	原案可決
第85号	市道の路線認定について	原案可決
第86号	市道の路線変更について	原案可決
第87号	平成18年度大洲市歳入歳出決算の認定について	継続審査
第88号	平成18年度大洲市企業会計決算の認定について	継続審査
第89号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
第90号	大洲市名誉市民の選定につき同意を求めることについて	同意
第91号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意

■(委員会提出)

議案番号	件名	議決等結果
委第1号	地方の道路整備財源の確保に関する意見書の提出について	原案可決

【人事案件】 (敬称略)

- ・教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

兵頭 史彦 (大洲)

任期 H19.9.26 ~ H21.2.28

- ・監査委員の選任につき同意を求めることについて

田中 堅太郎 (議員)

任期 H19.9.26 ~ H21.10.1

就任ごあいさつ



第3代議長
岡 孝志



第3代副議長
村上常雄

新議長に岡孝志議員、新副議長に村上常雄議員選出

9月26日、定例会最終日、清水久二博議長並びに岩田忠義副議長の辞職に伴い正副議長の選挙が行われ、新議長に岡孝志議員(長浜町)、新副議長に村上常雄議員(北只)が選ばれました。

市民の皆様には、日頃より市議会に対し、深い御理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは、先の9月26日の本会議におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長の要職に就任いたしました。誠に身にあまる光榮であり、その責務と使命の重大さを痛感いたしております。

今、三位一体改革による地方分権の推進など、本市を取り巻く環境は依然として厳しく、少子・高齢化の進行、環境問題、治水問題等々、多くの課題が山積しています。

このような中、私たち大洲市議会は、議会の責務を自覚し、効率的で分かりやすい議会、そして円滑な議会運営を目指し、議会の機能を十分発揮しながら、行政とともに市政発展のため誠心誠意努力して参る所存であります。

もとより微力ではありますが、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

平成19年10月

議長 岡 孝志
副議長 村上常雄

決算特別委員会設置

平成18年度大洲市歳入歳出決算及び企業会計決算の認定について審査

- 委員長 大野立志 ○副委員長 福積章男 叶岡廣志
 ○向井敏憲 大野立志 福積章男 叶岡廣志
 ○後藤武黨 有友正本 大野新策

地方の道路整備財源の確保に関する意見書

道路は、豊かな市民生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基礎的な社会資本であるが、都市部に比べ公共交通機関の整備が遅れている本市においては、市民生活の交通手段は道路に大きく依存しているものの、道路整備が未だ不十分であり、活力に満ち、安全で安心できる暮らしの実現を図るためには、その整備が必要不可欠である。

また、今後予想される南海地震等の大規模災害に備え、避難路の確保や、災害後の緊急輸送・救急医療のための四国8の字ネットワークをはじめとする高規格幹線道路網の整備を強力に推進し、計画的かつ着実に、その整備を図らなければならない。

こうした中、国においては、道路特定財源の使途拡大や一般財源化が議論され、次期通常国会において所要の法改正を行うこととされており、道路整備が遅れている本市にとって、到底容認できるものではなく、大都市圏との格差がますます拡大し、活力あるまちづくりの大きな阻害要因になるのではないかと大変危惧している。

よって、国会及び国においては、地域の多様な要望や道路整備の実情をよく把握し、その重要性、緊急性を十分認識され、遅れている地域の道路整備を引き続き強力に推進するため、安定的な道路整備財源の確保と充実に努められるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年9月26日

大洲市議会

大洲市名誉市民に同意

西田司氏(長浜町下須成)

社会、文化、産業の進展に貢献された功績により、名誉市民を選定するにあたり、原案のとおり同意しました。

総務文教委員会

- 委員長 西村良照
 ○副委員長 梅木豊
 福積章男 葉岡廣志
 中野寛之
 宮野章之
 井宮寛之
 清水敏博
 向井敏博
 清久太郎

○委員長 ○副委員長

各常任委員及び議会運営委員の任期満了により10月9日新しい委員及び正副委員長が決まりました。
 なお、岡議長就任に伴い、脇川流域治水対策特別委員に、新に安川哲生議員が就任しました。

議会運営委員会

- 委員長 山本光弘
 ○副委員長 後藤利
 岩田武勝
 有田正忠
 古友青弘
 野野一憲
 矢野敏博
 向井久博
 清水新策

建設農林委員会

- 委員長 岩田一義
 ○副委員長 岡田志
 上野孝一
 岡田榮志
 野下勝
 野野茂
 中山新策
 大野明策

市民福祉委員会

- 委員長 榊和生
 ○副委員長 安川哲美
 村上常雄
 後藤武雄
 有友正一
 矢野義平
 吉岡昇平

企画財政委員会

- 委員長 古野明弘
 ○副委員長 山本立志
 大野雅司
 武田保
 水本憲
 宮本憲
 叶網文
 小泉文

第4回臨時会

10月24日、第4回臨時会が開かれ、10月15・16日に入札が執行された新大洲市立図書館(仮称)新築工事の請負契約についての議案が上程され、市長の提案理由の説明の後、質疑並びに賛成・反対の討論が行われ、採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決しました。

第92号議案

大洲市立図書館(仮称)新築工事の請負契約の締結について
 (請負金額)
 495,600千円

(契約の相手方)
 村上工業株式会社
 代表取締役 村上 聖



質 疑 ・ 質 問

■ 主な質問項目 ■

1 山本光明 議員

- ①財政の今後の見通し
- ②納税制度変更に伴う対策
- ③橋梁の安全対策
- ④農業経営所得安定対策
- ⑤小学校の統廃合

2 安川哲生 議員

- ①山鳥坂ダム建設に伴う道路整備
- ②老人福祉施設の現状と方針
- ③各施設の使用料の見直し
- ④市有林の管理
- ⑤大洲病院の経営

3 樹田和美 議員

- ①救急医療体制の現状
- ②自主防災組織の活動
- ③要援護者の避難支援プラン
- ④緊急地震速報
- ⑤避難地点の安全対策

4 武田雅司 議員

- ①自治基本条例の制定
- ②常設型住民投票条例の制定
- ③災害時の井戸活用
- ④耐震診断・改修費用の助成
- ⑤うかい・夜の町並観光

5 中野寛之 議員

- ①市民向けの予算説明書導入
- ②参議院選挙開票事務の不手際
- ③土地開発公社経営健全化計画
- ④学校統廃合問題の市長見解
- ⑤学校統廃合検討委員会のあり方

6 上田栄一 議員

- ①ごみ減量と資源化対策
- ②こどもの頃からの環境教育
- ③学校統廃合による財政状況
- ④保護者・地域での統廃合協議
- ⑤未収金残高と傾向

7 有友正本 議員

- ①限界的集落の小学校統廃合
- ②環境アセスメントの状況
- ③ダム建設と漁業権
- ④図書館用地購入の経過
- ⑤駄川漁協補助金

8 大野新策 議員

- ①地方局再編と八幡浜教育事務所
- ②大洲病院の産婦人科・小児科
- ③救急搬送の実態
- ④図書館建設に伴う分館の整備
- ⑤乳幼児医療費助成制度の拡大

自主防災組織

問 自主防災組織の積極的な活動を

答 当市の自主防災組織の結成率は、平成18年度末に100%となり、今年度からは、組織の育成・支援を重点に取り組んでいます。この組織はいざというときに活動できることが大切であることから、当市では、本年4月に各地区の自主防災組織に対して防災研修・訓練について積極的な取り組みをお願いしたところです。

各地区の自主防災組織からは、避難、搬送、情報伝達、炊き出しなどの訓練や、各種の講話、救命救急講習などを実施したいということと、市内33地区組織のうち16地区で延べ23回の訓練等が実施されています。さらに、今後も各地でさまざまなその地域に合った研修訓練が実施されることになっていきますので、当市としても側面的な協力を行いながら、いざというときの対応に備えていきたいと考えています。

税務行政

問 口座振替による納税手続きの状況と今後の対策は

答 現在、口座振替による納税の状況は8月末現在で、市県民税の普通徴収分が約56%、固定資産税が約67%、軽自動車税が約49%、国民健康保険税が約71%となり、全体としては約61%となっています。現段階では、国民健康保険税を除いたほかの税目は、70%の目標に達していませんが、納税通知書を送付する際に、啓発用のリーフレットを同封するとともに、窓口での納税者に対しては、口座振替手続きのお願いをするなどその推進に努めています。今後の対策は、まだ口座振替の手続きを済まされていない方に対して、直接又は電話等により手続きの案内を行うなど、いろいろな機会をとらえながら、お願いをしていきたいと考えています。

委員会審査

9月定例会で委員会に付託された議案等について審査を行いました。

総務文教委員会

委員長 矢間 一義

図書館建設について

● 監査請求の結論が出されるまでの一時凍結について

答 建設予定地の検討の際には、東若宮地区にある市有地を含めて候補地の検討を行ったもので、今回監査請求された大洲市の所有になるまでの経緯等についての問題が今後の建設計画に影響を与えるものとは考えておらず、予定どおり、来年10月の完成に向けて準備を進めていく。

● 小学校の統廃合について

問 現時点での統廃合計画案について

答 地域では学校を残してほしいという思いが強いと思うが、現在作成している資料は、ある程度の期間や適正な児童数などを設定したうえで検討する必要がある。



るため、全ての意見を聞いてから計画を立てていくことは困難である。いずれにしても、この統廃合には地域の理解が不可欠であるため、いただいた意見も含め、今後も慎重に検討していきたい。

企画財政委員会

委員長 村上 常雄

● 中小企業振興資金融資条例の一部改正について

説明 この条例は、市内の中小企業の金融難の緩和と育成振興を図ることを目的に制定しているが、今回融資審査委員会の廃止と責任共有制度の導入に伴い、融資に関する手続きから決定までの内容を変更するものである。

● 融資審査委員会が廃止され、責任共有制度が導入されることに伴う今後の市の体制とこれまでの融資状況について

答 融資審査委員会が廃止されても今までどおり申込みを出していただき、市がすべて決めてしまうのではなく、商工会議所や商工会にも合議し、問題がなければ仮決定という形で対応していきたい。

融資の状況は、旧大洲市では平成16年度までは件数が40件から50件、融資金額が1億5,000万円から2億円程度であったが、合併後、平成17年度は件数が

約80件、融資金額が約3億円、平成18年度は件数が51件、融資金額が約2億円となっている。

● 交流促進センター条例の一部改正について

説明 今回の改正は近年の重油価格の高騰に伴い、大洲市交流促進センター鹿野川荘の入浴料金を改定するものである。

● 今回の改定による今後の経営の見通し、近年の鹿野川荘の利用状況、及び今後の取り組みについて。

答 今後の経営の見通しは、平成17年には53円であった重油価格が78円まで上昇し、下がる傾向が見られずさらなる高騰も予想されるが、入浴料については450円以内で柔軟に対応していきたい。

鹿野川荘の利用状況は、利用者総数が平成16年度は約7万1,000人、平成17年度が約6万9,400人、平成18年度が約6万5,530人、この内入浴者数は平成16年度が4万3,980人、平成17年度が4万5,388人、平成18年度が3万9,186人である。

総売上高は平成16年度が



鹿野川荘大浴場(鉱泉)

1億1,900万円、平成17年度が1億2,600万円、平成18年度が1億2,200万円と減少傾向になっている。

経営改善策としてホームページの開設、ピアガーデン、夏場の宿泊者へのサート虫プレセントなどのサービスを行うとともに、地域の食材を活用した料理メニューの考案や接客を中心とした従業員の教育、指導を行っていきたい。

保育所統廃合

問 今後の計画は

答 保育問題検討委員会の意見及び旧長浜町での検討委員会の答申に基づき、本年度は柳沢保育所と沖浦保育所を閉所したいと考えています。

柳沢保育所の本年度入所児童数は5人で、今後も減少傾向にあり、新谷保育所との統合を考えています。沖浦保育所は、現在借地である保育所用地の契約期間が平成20年3月末であることから、長浜保育所との統合を考えています。

なお、閉所に伴う児童の送迎は現在既にバス送迎を行っており、問題ないものと考えています。

保育所の統廃合については、今後も保護者や地域住民の方々に十分な説明などを行い、ご理解を得た上で取り組むたいと考えています。

観光行政

問 うかい観光の現状と抜本的対策は

答 うかいの利用者数は長引く景気の低迷や余暇利用の多様化などから、近年は平成6年の2万1,000人をピークに減少傾向にあり、平成18年は過去最低の約1万1,000人台でした。本年は6月は好天が続き、昨年を上回る利用者数でしたが、7月は天候不良により昨年度を大きく

下回る結果となり、8月も大洲川まつり花火大会が台風の影響で延期となり、花火大会時の利用者数が例年の7割程度に落ち込む残念な結果となりました。

今年度は市観光協会と連携し、50周年記念事業「うかい50（ゴーマル）キャンペーン」として、8月にはうかいに対する知識と理解を広く深めていた。だこうと市内の小学生以下の児童を対象に「夏休みこどもうかい教室」や安価にうかいを楽しんでいただくための「家族でうかい」、「50代ペアでうかい」を企画、実施し、うかい振興に努めました。今後は、観光協会やうかい登録店組合等とともに、過去のデータや利用者のニーズ等を分析し、集客増につなげる方策について検討を進め、今後はうかい事業と長浜、脇川、河辺地区の魅力ある観光資源等を有機的に連携させながら、体験型のセットメニューや長期滞在型観光商品の開発に向けて検討をしていきたいと考えています。

環境問題

問 さらなるごみ減量・資源化に対する取り組みを

答 当市は、平成11年度より指定ごみ袋による6種分別収集を実施してきましたが、依然として多くの紙類が燃やすごみとして排出されているため、広報紙やごみ分別チラシ等に雑紙の出し方を掲載し、紙類のリサイクル推進を図っています。今後も広報等によるさらなる意識啓発や研修会、市民の集いなど各種機会をとらえて、紙の再資源化への協力をお願いしていきたいと考えています。

昨年、改正容器包装リサイクル法が成立したこともあり、現在の分別方法を見直す時期にきており、廃プラスチックを含め容器包装のリサイクルについて最優先に検討し、廃食用油の回収を含め、ごみの減量化及びリサイクルの推進に順次取り組みを進めていきたいと思います。



山鳥坂ダム建設

問 新たなクマタカ力の取り扱いとその影響は

答 クマタカについては、環境検討委員会並びに準備書に対する県知事意見等を踏まえて、クマタカに対するモニタリング調査の頻度を上げて継続的に実施されています。今後、幼鳥の巣立ちの状況などを踏まえ、環境影響評価書にどのように反映していくのか、環境検討委員会の意見を聞いて対応するとの報告を受けています。

県道の工事への影響等については、現段階では判断できませんが、地域の生の声を国・県へ要望していくことや、大事な地域住民の生活、安全を考えていく必要があり、先般、道路用地関係者をはじめ、地域の方々の同意をいただき、現在、その調査が進んでいます。環境影響評価の終了後、工事用道路の工事着手が可能となるよう、国・県等の関係機関に対し、強く要望していくとともに、地元との調整や諸手続を推進していきたいと考えています。



こどもうかい教室

学校統廃合

問 市長の見解は

答 学校は知・徳・体のバランスのとれた質の高い教育を提供し、安心して子どもを託すことのできる場であることが求められており、当市でも将来展望に立って、これまで以上に効果的な教育を大局的、総合的に検討していかなければならないという大きな命題があります。

市内の小学校28校のうち15校が複式学級で、6校が20人以下の児童数であり、予測では平成30年には20校が複式学級をとらざるを得ず、13校が20人以下の児童数となる見込みです。

子どもたちの教育効果を高めるためには、この複式学級を解消して、お互いに競い合いながら学習を高め合うことも大切で、同級生や上級生、下級生との触れ合いも大切になってくると思います。これらにより、豊かで健やかな心が成長し、多様なものの見方、考え方が自然と身についていくのではないかと考えています。

このような状況から、子どもたちの将来のために学校統廃合がどうあるべきかということを慎重に検討する時期に来ており、各地域の歴史と伝統、又将来の子ども達の展望に基づき、現実から目をそらさず時間をかけて検討していきたいと考えています。

問 教育委員会と学校統廃合検討委員会の役割は

答 検討委員会は今後の学校統廃合のあり方について必要な事項を調査、検討するものであり、検討結果の最終判断は教育委員会が行います。学校統廃合を行うべきということについては、検討委員会の審議の中で合意のもとで進めており、統廃合ありきで審議しているものでも教育委員会主導で進めているものでもありません。

また、教育委員会としては、何よりも子どもたちによりよい教育環境を整えていくことを先決問題として取り組んでおり、すべてのことを検討委員会にゆだねているというわけではなく、今後さまざまな意見などを聞きながら、検討委員会と

よりよい教育環境づくりを目指して子ども交流会（喜多瀬小学校）



ともに協議、検討しながら当市の教育のあり方を集約していきたいと考えています。

なお、今後できるだけPTAや地域の皆さんの御意見などを委員が聞いた上で、内容に盛り込む方がいいのではないかとということから、来年3月を目途に取りまとめられる予定となっております。

図書館建設事業

問 図書館建設により財政運営に支障は出ないのか

答 市公債費負担適正化計画では、図書館建設事業

業等による合併特例債の起債発行管理をはじめ、今後見込まれる各種起債のうち各年度の発行額をどの程度にしていけば、平成24年度に計画目標値の18%を切る事ができるかを想定して策定しています。

大変厳しい財政運営は続きますが、財政環境の変化に適切に対応して、公債費負担適正化計画を見直しながら目標が達成できるように適切な起債発行管理に努めていきます。

問 図書館用地取得の経緯は

答 建設予定地の3,362・84平方メートルのうち、約3分の1程度の909・75平方メートルは土地区画整理事業完了後に大洲市土地開発公社が取得した保留地の一部であり、残りの2,453・09平方メートルは、合併により

の状態などを考慮した結果、図書館を優先すべきと判断しました。

このような経過から、当該地を図書館建設候補地の一つとして、図書館建設検討委員会で検討した結果、東若宮用地が新しい図書館の建設地として最適であるとの答申を受けたことから、当該用地を新図書館建設地に決定し、6月議会で図書館建設事業についての土地購入費等の議決を受け、8月14日付で大洲市土地開発公社と土地売買に関する契約を締結し、同月28日に土地購入費2億7,509万4,300円の支払いを完了したものです。



市民福祉委員会

委員長 向井 敏憲

■高齢者生活福祉センター（脳流苑）の指定管理者制度導入について

問 導入における業務の内容及び管理者の指定方法について

答 指定者の業務内容は、高齢者の居住施設となる生活支援ハウス及び、主に精神障害者のデイサービス事業となる障害者の日常生活訓練等の運営業務を行うもので、詳細は今後調整していく予定である。現在実施



レクリエーションを楽しむ利用者（脳流苑）

している介護保険制度による通所介護事業は、大洲市老人デイサービスセンター条例に脳流苑を組み込むこととし、大洲市指定通所介護事業所条例は廃止しようとするものである。

指定管理者の指定方法は、11月中には公募を行い、要綱に基づき、指定管理者候補者選定委員会を設置し、選定作業を進めていく予定である。

意見 指定管理者制度導入により、これまでの行政が行うサービスに比べサービスの低下などを招かないよう注意してほしい。

答 平成20年4月からは、脳流苑を含めて原則、公募で指定することを考えており、その結果、サービスの低下などにより利用者等に不都合が生じないよう適切な選定並びに指導を行っていききたい。

■障害者自立支援法による福祉サービスについて

問 補正予算の内容について

答 今回4つの事業を計画している。まず、障害者自立支援法施行円滑化事務等特別支援事業では、制度啓

導入される活字文書読み上げ装置



発用のパンフレットの印刷及び購入に関する経費並びに市で独自に実施している地域生活支援事業の電算システム用の端末パソコンの購入。次に、障害児を育てる地域の支援体制整備事業では、愛育ホーム及び保健センターに療育器具及び遊具の整備。オストメイト対応トイレ設備緊急整備事業は、大洲市役所1階の身体障害者用トイレをオストメイト対応トイレとして整備しようとするものである。視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業は、視覚障害者用の活字文書読み上げ装

置9台分及び音声コード作成ソフトの購入である。

これらの事業により、障害者福祉サービスの一層の充実を図るとともに、障害者自立支援法に基づく様々な支援などが円滑に実施できるよう対応していきたい。



建設農林委員会

委員長 宮本 増憲

■肉用牛産地強化支援事業基金条例の制定及び肉用牛産地強化支援基金繰出金について

問 計画内容と、貸付金が返済されない等不測の場合への対応について

答 現在、農業従事者の高齢化等により繁殖牛農家が激減し、また和牛仔牛の価格の高騰により、1頭が50万円から60万円となっている。このことから、素牛が

非常に高騰化し肉用牛農家の経営を大きく圧迫しているため、県下6市町が今回基金を設置し、貸付けによる産地の強化を図るもので、今回当市では、県2分の1、市2分の1の出資により976万円の基金を創設し、繁殖用雌和牛20頭を目標に導入するものである。この貸付事業は無利子とし、貸付期間の5年間に仔牛を3頭から4頭育成できるものと考えており、5年後にその素牛の導入における貸付金の償還を受ける計画としている。



放牧中の肉用牛（忍木）

議会日誌

万一、不測の事態が生じた場合について、素牛の購入後、どうしても種のつかない牛があった場合はその牛を肉牛として肥育し、約36カ月後に出荷し貸付金を償還することになる。また、想定しない事故が発生した場合に備えて家畜共済への加入を義務づけており、共済の保険金で返納することとなる。また、畜産農家が倒産等を生じた場合、素牛は市の備品として管理貸付をしているため、このようなことは想定していないが、通常であれば素牛を市が回収し、他の農家へ貸付又は売却することで、貸付金相当額は回収できると考えている。

《7月》

3日・国道197号(大洲・八幡浜・西宇和間)

地域高規格道路建設促進期成同盟会定期総会

・全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会(東京都)

6日・八幡浜地方局管内正副議長懇談会(八幡浜市)

11日・国道378号線整備促進協議会総会(伊予市)

12日・こども議会

19日・国道197号、国道378号、国道44

1号関係県知事要望(松山市)

20日・国道197号、国道378号、国道44

1号関係国土交通省四国地方整備局要望(高松市)

24日・長野県飯田市議会行政視察

《8月》

2日・議会運営委員会

7日・愛媛県市議会議員研修会(松山市)

8日・四国治水期成同盟連



27日・地方局再編整備計画案に対する要望(八幡浜市・松山市)

・愛媛県市町総合事務組合議会定例会(松山市)

30日・八幡浜、大洲地区広域市町村圏組合議会

2日・愛媛県総合防災訓練(八幡浜市)

5日・第14回全国鶴鯛いサミット大洲大会

6日・議会運営委員会

12日・第3回定例会

菅井きんさんら大洲市長を表敬訪問

映画、「ぼくのおばあちゃん」のロケが大洲市内で行われ、10月15日出演者の菅井きんさん、原日出子さん、監督の神英雄さんらが大洲市長を表敬訪問しました。

この映画は祖母と孫を中心に家族のきずなを描くもので、市内各所で主人公の男性の子供時代を回想するシーンとして撮影が行われました。



大森市長と談笑される菅井きんさんら

上映は来年秋頃を予定されており、市内の美しい風景や町並み等を背景に、全国で上映されるものと期待されます。

会議録の閲覧

会議録は、定例会及び臨時会の本会議を記録したものです。

9月定例会の会議録は12月上旬頃から、本庁4階の議会事務局、各支所、図書館等で閲覧できます。



秋から冬の風物詩

「砥川あらし」



編集後記

今年は豪雨及び洪水による被害が比較的少なく安心しましたが、例年になく長い残暑となり、急に秋が深まってきた感じがします。風邪など健康には気を付けたいものです。

議会も議員任期の折り返し点を過ぎ、議長・副議長、委員会等新たな体制で心機一転、一層の議会活動に取り組んでいきます。

引き続き皆さんのご支援・ご協力よろしくお願いたします。